

# 令和3年度 学校自己評価システムシート

( 県立所沢高等学校定時制 )

目指す学校像	多様な生徒一人一人に相応し、社会的自立を促す親身あふれる温かい教育
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を大切にし、学習意欲を向上させ、基礎学力を定着させる</li> <li>2 家庭や地域との連携を強め、教育活動を一層充実させる</li> <li>3 学校行事等の多様な学びの機会を通じて、社会人として自立できる力を育成する</li> </ol>

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価			実 施 日	
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	満 足 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策		
							学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等		
1	<p>現状 中学校までの学習につまずきがあり、基礎学力が定着していない生徒、日本語が理解できない生徒、学年相応の学力のある生徒など多様な生徒が在籍している。</p> <p>課題: 基礎学力を定着させるとともに、わかる喜びを体験させて学習意欲を高める必要がある。</p>	<p>わかる授業、主体的に参加する授業や補習等の実施による基礎学力の定着</p>	<p>①生徒一人一人の学力や理解度を把握し、個に応じたきめ細かな指導を行う。</p> <p>②教材の工夫によって生徒の興味・関心を高め、見通しを持って学習に取り組ませる。</p> <p>③教員と外部指導者の連携により、日本語の指導が必要な生徒や学力の低い生徒の学力向上に取り組む。</p>	<p>①② 生徒の授業満足度</p> <p>①②③ 各学期末の欠点保有者数</p> <p>②③ 授業時以外の学習時間</p> <p>③ 外部指導者の活用状況</p>					
2	<p>現状 新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら教育活動を展開できているものの、保護者との連携が難しい状況にある。また、定時制の特色が中学生に伝わっていない。</p> <p>課題: 保護者や中学校への情報発信を工夫し、本校定時制への理解を深める。</p>	<p>保護者との連携体制の強化と中学生への情報発信</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症感染防止対策や教育活動の情報を積極的に保護者に発信するとともに、保護者の意見や要望を収集していく。</p> <p>②学校案内を一新するとともに本校で中学時代の生活改善が見られた生徒の情報を中学校へ発信する。</p> <p>③HPは写真掲載を増やし、視覚に訴える記事の掲載を増やす。</p>	<p>①保護者の学校理解度と満足度</p> <p>②学校案内配布数と中学校への情報発信回数</p> <p>③写真掲載のHP更新回数と閲覧者数</p>					
3	<p>現状 面倒見の良い教員の指導や外部指導者の活用によって、成長している生徒が多い。</p> <p>課題: 生徒に主体的な活動の場を提供して自己肯定感を高めるとともに、自ら考えて行動できる人間に成長させる。</p>	<p>自立した人物へと成長させるため、自己管理能力を高める。</p>	<p>①全教職員で生徒情報を共有し、生徒理解を深めた生徒指導を行う。</p> <p>②高校生自立支援事業やスクールカウンセラーを活用するとともに、外部機関と連携し、生徒の自立意識を高める。</p> <p>③ガイダンス機能の強化や就職支援アドバイザーの活用により、卒業後の進路に見通しを持って、学校生活を送らせる。</p>	<p>①②③ 生徒の自己肯定感と進路意識の向上度合</p> <p>①②③ 欠席、遅刻、早退日数</p> <p>①② 中途退学者数</p> <p>③ 卒業生の進路決定状況</p>					